

2020年
教室だより
8月号



公文式
本市場教室・横割教室
ゆきこくもん
<http://www.yukiko-kumon.com>

公文式本市場教室 火3時~7時 木2時30分~6時30分
Tel.61-4936(上平方)
横割教室 月・水 3時~7時 Tel.090-2260-0671
Eメール:yvonne-yukiko@mbi.nifty.com
携帯アドレス:yvonne-1682-yukiko@docomo.ne.jp
指導者:新妻ゆき子 携帯090-2260-0671

~夢にも思わず~

コロナ禍が続く中、日本列島には梅雨前線に乗った、猛烈な豪雨による被害が各地で発生しています。中でも熊本県の球磨川が氾濫し、甚大な被害が出ていることに、心を痛めている方も多いと思います。一日も早い復興を祈っています。

約2か月の休校のために、8月から短い夏休みが始まります。お子さまにとって、コロナ禍で緊張した体を休め、充実した時間にしてほしいと願っています。休みの間、何か1つでも自分で決めたことをやり切ると、それがお子さまの大きな達成感や自信となり、さらなる挑戦意欲につながります。例えば「1日1つお手伝い」「毎日30分読書」「毎日犬の散歩」「毎日6時起床」などどんなことでも構いません。もちろん「毎日くもん」も大切なことですね。コツは2つあります。1つはカレンダーにシールを貼るなどして、取り組んでいる最中のがんばりが目に見えてわかること。もう1つは、例えば15日間の挑戦であれば、「10日以上取り組んだら達成!」など、多少お休みしてしまっても挽回のチャンスを残すこと。テーマは何であれ、自分で決めたことを毎日コツコツ続けることは、生活のリズムを崩さないことにもつながります。夏休み以降を順調に過ごすためにも、生活リズムはキープしておきたいですね。お父さま、お母さまもテーマを決めて、お子さまといっしょに取り組んでみられてはいかがでしょうか。

公文式の創始者・公文 公（くもん とおる）先生の言葉より

“幼児期からの働きかけで学ぶ力を身につけさせる”

早い時期から公文式で学ぶ力をつけた子どもたちの様子を見ると、文字が読めるようになった、数が理解できるようになったということはもちろんのこと、大きな力として身につけているのは、どんなことでも集中して短い時間で仕上げられるようになってきていることです。暗記したことは、時間がたてば忘れることもあるでしょう。しかし、一度身についた集中して取り組む姿勢、短時間に一気に仕上げられる作業力は子どもの一生の宝になります。公文式はやさしいところ、100点がとれるところから学習するので、考え込んだり、行き詰まったりしないで、学習を進めることができます。やさしい内容でも楽にできるまで何回もくり返し解いていけば、理解できるスピードも高まります。じっくり考えて理解することはもちろん大切なことですが、短い時間に集中して能率よくやるほうが楽しく、しかも着実に身につけていくことは明らかです。その楽しく学ぶ力を、幼児のうちから身につけてしまうことが大切なのです。

August 8 2020

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	△3	□4	△5	□6	7	8
9	10 <small>土曜日</small>	□11	△12	13	14	15
16	△17	□18	△19	□20	21	22
23	△24	□25	△26	□27	28	29
30	△31					

*□本市場教室学習日
*△横割教室学習日

本市場教室日□

横割教室日△

保護者様へお願い。

お休みのときは電話でもメールでも結構ですので連絡をお願いします。
8月分の会費引き落としは7月28日（火）です。よろしくお願いいたします。
(注)休会・退会の場合は、引き落としの関係から15日までに申し出下さい。
教室からご家庭に連絡される生徒さんの場合は固定電話・指導者携帯電話・メール等はいずれも10円納入願います。
*学習終了後、学校の宿題をやってもかまいませんが、おしゃべりしたり、だらだらやる子は、即退出してもらいます。ご了承ください。

*ゆき子の一言コラム 音読と暗唱

よく、『子どものころ覚えたことは忘れない』と言われるますが、本当にその通りで、小学生、中学生くらいに丸暗記した内容は、大人になってもかなり覚えています。それが、高校生、大学生くらいになってからの暗記したことは、不思議とけっこう忘れていくものです。大人になってからの記憶は、さらに忘れやすくなるようです。

また、子どものころは、意味が分からなくても音で覚えることができます。実は、学齢が上がるにつれ、意味の分からないものは覚えられなくなるので、名文や古典の暗記には、頭が柔軟な小、中学生のときに覚えてしまうのがいいのです。

学校はもちろん家庭でも、できるだけ名文と一緒に音読し、覚えてしまうのがよいと思います。こうして覚えたことは、たとえそのとき、意味が分からなくても、いずれその内容、鑑賞がじわじわと理解できるようになるからです。つまり、難しい文章でも、親や大人がだいたいの意味を教えればよいことですし、場合によっては意味は教えなくても構いません。

ですから、ご両親が座右の銘としている言葉。古典文学、その他これは覚えさせておこうという名文は、ぜひ子どもと一緒に声を出して毎日読むことをお勧めします。最近、『声に出して読みたい日本語』などの良書も出版されています。

よくお風呂の中で数を数えますが、このときに暗唱するのも一つの方法でしょう。また、そのご家庭の宗教的信条により、聖書の一節や経文を暗唱するのもよいでしょう。

こうした音読、暗唱は脳を刺激し、活発にします。暗記は集中力を要しますから、集中力を養う訓練にもなります。さらに音読は、日本語の言葉のリズムを知り、文章感覚を磨くという効果もあります。

黙読ではなく、音読が優れているのは、自分で声を出した文章を、再度、自分の耳で聞くことになるからです。実際一回音読することで、二度繰り返していることになるのです。当然記憶を助けます。

また、声に出して読むことで、側にいる大人が、その出来具合を容易に確認することができます。つまり、途中でつかえてしまったり、止まってしまうところは、覚えていないところですから、すらすら読めなければ、まだ練習不足ということなのです。

すべての学校で、音読、暗唱の宿題が出されるわけではありません。ですから是非、ご家庭でお試してください。ゲーム感覚で親子で競争するのもいい方法です。

【今後の感染症等の影響による対応について】

いつも公文式学習にご理解ご協力をいただきありがとうございます。

教室では、お子さまの安全を第一に考え、新型コロナウイルス感染症対策に細心の注意を払い、運営をしております。しかしながら、今後、新型コロナウイルス感染症の第2波や第3波が予測される報道もございます。

万が一に備えて、当教室では、お子さまの安全と学習の継続を考え、在宅でも公文式学習ができるように準備をおこなっております。

公文教育研究会の方針を受けて、本日以降に、万が一災害や感染症の流行、または休校などの措置に伴い、教室での学習が困難であると判断した期間に限り、全会員の皆様を対象に在宅での学習に変更させていただきます。

その場合、会費に変更はございませんので、予めご承知おきください。よろしくお願いいたします。

- ① はきものはきちんとそろえよう！
- ② あいさつは おおきなこえで はっきりしよう！
- ③ もちものには なまえ をかきましょう！
- ④ でんわをかりたら かならず でんわ代10えんいれてください！